

2024 ゴールボールタッチキャラバン（四條畷） 事業実施報告書

1 期 日：2025 年 2 月 11 日(火・祝) 10 時～15 時

2 会 場：イオンモール四條畷

3 スタッフ：8 名 西村、松本、川合、上村(英)、藍野大学 4 名

4 内 容：

来店した方々にゴールボールのボールやアイシェードに触れてもらったり、床面に敷設したひも入りラインを踏んでボールを投げてもらったりの体験を行った。また、競技のパネルを展示して、競技紹介チラシも配布した。最後に、点字名前シールを目の前で作成して渡すことで、点字の世界を感じてもらった。

5 所 感：

最大級の商業施設で、バレンタイン商戦の最中という時期でもあったことから、300 名を超える多くの方が来場。その 2/3 以上が実際にボールを投げ、点字名前シールを受け取ってもらった。

来場者の中には、知り合いの友人に代表選手がいるという方や、パリパラリンピック・ゴールボール競技をテレビで見たという方も想像以上におり、2020TOKYO パラリンピック以降、テレビでゴールボールが放映されることが増えたことで、以前に比べて認知度が上がっているように感じた。

この取組は、「こちらから出掛ける」スタイルであり、来場者とゆっくりと話ができることがセールスポイントにもなっており、多角的に競技を知ってもらえる機会になった。

6 成果と課題：

わざわざ体験に行くのではなく、たまたま出かけた所でゴールボールや点字に触れられるということがパラスポーツ普及や視覚障害理解にとって大切であり、これをきっかけに競技への興味や関心を持ってもらえるという点が重要だと考える。

今後の課題としては、事業を担える若い人材の発掘が挙げられる。特に大学生の考え方を導入することで、若い世代へのアピールが効率的に行えるのではないかと考える。

【ゴールボールタッチキャラバンは JKA 助成事業を受けて実施しております。】



【タッチキャラバン会場の様子】

